

新たな学生確保の取組

農業大学校

農業大学校の学生数は徐々に減少傾向にあり、平成 25 年度の入学者は定員の 63% まで低下しました。このため、職員全員が学生確保の目標を掲げ県外高校も対象とし、効果的な高校訪問に努めました。また、新たに学校見学会を開催し、よりよく農業大学校を理解してもらう機会を増やし入学応募者増加に努めました。さらに NHK いばらナイトの取材を受け入れるなど、農業大学校での学習内容や学生生活の PR を強化しました。この結果、平成 26 年度は養成課程定員（80 名）に対し、入試応募者は 108%、入学者は 95% 確保することが出来ました。

新たに学校見学会を開催

オープンキャンパスに加え高校生の進路決定期の 6 月に学校見学会を開催しました。学習内容や進路などの説明と、農場や学生寮の見学を行い、早期に農大での学校生活をイメージしてもらいました。また、希望者を対象に個別相談会を開催し入学試験の準備、寮生活などの不安に、職員がきめ細かく対応・助言し理解を深めてもらいました。さらに学生主導のオープンキャンパスとしたことで、農業高校からの応募者回復に繋がりました。



適確なアドバイスにより、様々な不安も解消



オープンキャンパスには県外高校からも 16 名が参加

NHK いばらナイト等で農大を PR

NHK 水戸放送局の地域の魅力を紹介する「みんな、いばらナイト」での放映など、マスコミを積極的に受入れ、効果的な PR を図りました。いばらナイトでは、若者達の実習や寮生活など農大生活の楽しさ、もぎたてのトマトやトウモロコシなど新鮮な野菜の美味しさなどを、多くの人に伝えることが出来ました。その他、新聞掲載や動画アップなどにより、農業大学校の魅力を内外に PR することで、応募者増に繋げることが出来ました。

県外を含め高校訪問を強化

学生募集のため県内全高校を職員が分担して訪問しました。また、幹部職員によるトップセールスや入学者の分析に基づき重点対象を見直した訪問を実施しました。加えて、入学実績のある高校を中心に、県外へも積極的な働きかけを行いました。

その結果、オープンキャンパスに県外からの参加者が増え、これが受験に結びつき、県外からの入学者が 11 名（前年度 4 名）と大幅に増加しました。



活き活きとした農業大学校での生活を PR